

～再就職に向けて～
自衛隊合同企業説明会の開催（函館）

自衛隊函館地方協力本部（本部長 花田博光 1 等海佐）は 7 月 25 日（金）、プレミアムホテル-CABIN PRESIDENT-函館において、一般財団法人自衛隊援護協会札幌支部主催、北海道自衛隊退職者雇用協議会函館支部協賛の「令和 7 年度自衛隊合同企業説明会」の開催を担当した。

本説明会は、任期制及び若年定年制退職予定隊員に対し、企業と直接面談する機会を作り、具体的な再就職準備を促進することを目的としている。昨年度まで任期制退職予定隊員を対象としたものであったが、今年度から定年制退職予定隊員も対象に加わり、道内外の陸海空自衛隊退職予定隊員 45 名（任期制：11 名、若年定年制：34 名）と函館管内外から企業 48 社が参加した。

当日、会場には幅広い業種の企業が参加し、参加隊員は希望する企業ブースを順次回り、企業による説明を真剣に聞くとともに、パンフレットだけでは分からない業務の細部内容を企業へ質問する等、面談時間を有効に活用していた。

当日は北部方面総監部人事部援護業務課長の関根 1 等陸佐が視察に訪れ、北海道自衛隊援護協会札幌支部長、北海道自衛隊退職者雇用協議会函館支部長及び自衛隊函館地方協力本部長と今後の援護業務について意見交換を行うとともに退職予定隊員の面談状況を直接確認した。

参加隊員からは「企業から直接話を聞くことができ仕事の内容が良く分かり、就職先を決める上でとても参考になった。」「様々な業種の企業の話聞くことで職業選択の視野が広がった。」という意見が聞かれ、企業担当者からは「隊員は、礼儀正しく誠実な受け答えで好印象」「話の聞き方や積極的に質問する姿から熱心さが伝わった。」という意見が寄せられた。

また、予備自衛官等の募集及び採用につなげるため、「予備自衛官等制度広報ブース」を設置し参加隊員及び企業に対して、処遇改善を含めた本制度の理解を促進した。

自衛隊函館地方協力本部は、今回の説明会における面談結果を踏まえて、部隊及び退職予定隊員と綿密な連携を図りながら就職援護を進めて行く。



隊員と企業担当者との面談状況①



隊員と企業担当者との面談状況②



援護業務課長による会場視察の様子



予備自衛官等制度説明の様子